



ときひがの子

校長だより
令和元年
10月11日
第21号

俳句の学習

今年で8年目となる高学年の「俳句の学習会」。

9月30日に、「岡崎市民俳句の会」の4名の先生をお招きして、俳句を学びました。6年生は2回目ですが、5年生は、初めてです。そこで、坂元英征先生から、「俳句のきまり」について、「(音数が)五七五」、「季語がある」ことなどについて学びました。



坂元英征先生から俳句を学ぶ

この日は、いわし雲がたなびく秋空の下、自然に親しみながら俳句の先生方と一緒に外で勉強しました。俳句作りは、30分程の短い時間でしたが、子供たちは俳句について多くのことを先生たちから学んでつくりました。子供たちの俳句は裏面に載せました。

私も、短い時間でしたが、俳句に挑戦しました。

七変化 青いキャンバス 罌雲
バツタ跳ぶ 新東名に 迫りゆく
ブランコの 今日のお客は 銀杏の葉
一輪車 競う背中に 赤とんぼ
昼放課 白いグランド 秋の風



ミクスの取材を受ける児童

俳句作りの後、「気持ちや季節を五・七・五の短い言葉に表すのは、難しかった」「初めて自分で俳句を作り、楽しかった」「初めての俳句作りでしたが、俳句の先生のアドバイスがあつて作ることができました」などの子供たちの感想がありました。

絵手紙募集！「わたしのまち」



- 1 テーマは：「わたしのまち」あるいは「わたしがっく」
常磐東のよいところについて絵手紙で紹介しましょう。
「かるたづくり」でかいた絵でもいいです。



川や山 いきもの こいのぼり ほたる 花火 灯籠流し お祭り など
学区や学校で、紹介したい場所や行事などを絵とことばで表現しましょう。

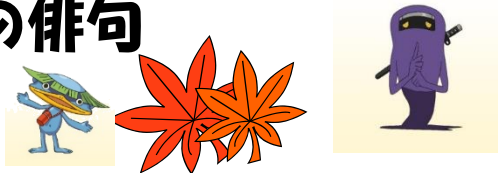
- 2 「はがき」は玄関においてあります。「なまえ」「がくねん」を書いてください。
- 3 10月21日(月)までに、校長室前の「赤いポスト」に出しましょう。
直接、校長先生に出してもいいです。 ※作品の返却はありません。

※入選すれば、すてきな賞品が中日新聞社さんからいただけます。



子供たちの俳句

6年生6名



青山 翔大：秋のちょう 遊びつかれて ひと休み
 青山 翔大：森の奥 よく見わたすと 猪のわな
 佐々木陽彩：いわし雲 常磐の山を おおってる
 佐々木陽彩：コオロギが 草にまぎれて ふみそうに
 富田 陽向：実がならぬ かきの木がある 運動場
 富田 陽向：赤色の ぼうしをかぶり 虫をとる
 峰澤 琉史：土の上 にじいろとかげ あなさがす
 峰澤 琉史：いがぐりが 山への道に 落ちている
 稲垣 楓：ゆっくりと すすきがゆれる おかの上
 稲垣 楓：いがぐりが たくさん落ちる 山の道
 中川 結香：ほうしぜみ ないてにぎやか 森の中
 中川 結香：赤とんぼ 仲間を探して 飛んでいる

5年生7名

峰澤 蒼心：カマキリや にげ足はやい とれないよ
 峰澤 蒼心：赤とんぼ 一匹だけで さみしいよ
 大江 智暁：山の日に きらきら光る 花すすき
 大江 智暁：杉の木の 枝にとまりし 赤とんぼ
 中根 禎助：秋の雲 風にあおられ どこに行く
 中根 禎助：高速路 下を小鳥が 飛んでいく
 細川 煌貴：赤とんぼ 常磐の空に 飛んでいる
 細川 煌貴：ねこじゃらし 常磐の風に ゆれている
 和出 翔吾：いがぐりの とげ青々と いたそうだ
 和出 翔吾：バッタ飛ぶ 草をはなれて また草へ
 土田 稚己：秋の虫 追いかけていく 赤ぼうし
 土田 稚己：大空に いっぱいうかぶ イワシ雲
 長谷川芽依：昼の虫 鳴く草むらや 山のかげ
 長谷川芽依：秋暑し こかげをえらび 句を作る

※俳句の授業の様子は、ミクスで11月18日(月)
 19時30分から放映されます！



富田征也先生から俳句を学ぶ



峯沢洋一先生から俳句を学ぶ



三浦葵水先生から俳句を学ぶ



坂元英征先生から俳句を学ぶ



9月誕生日会

ありがとうございます

○米河内町在住の峰澤さんが「せせらぎ
 広場」の草刈りを何日もかけてして
 いただき、青木川の土手がとてもすっ
 きりしました。ありがとうございます。
 ○開元の千葉さんが、「灯籠流し」の映像
 DVD（宇頭町の鈴木功氏撮影8月
 NHK放送）を届けてくださいました。